

話」を確立、昭和54年には「すぐつながる電話」も実現しました。

昭和60年に電電公社からNTTへ、この頃からNTTは通信のデジタル化に本格的に取り組みはじめました。すなわち高度情報化社会の多様なニーズに対応できる、総合デジタル網（ISDN）の構築でした。せっかく私が作ってきた交換局はあっというまにデジタル交換機に置き換えられました。さらにコンピューターの技術革新も目覚しく、マイクロソフト社に代表される通信ソフトの充実がなされ、通信とコンピューターの融合が図られ、マルチメディア時代の実現に世の中全体が動き出しました。

その代表的なものがインターネットであっというまに発展いたしました、そしてブロードバンド時代に突入しております。この牽引役がADSLでした中国や韓国で爆発的に普及しました。これはNTTにとって若干の誤算でした、NTTはISDNから光ファイバーネットワークへ移行する事が情報化社会実現に一番良いプロセスとしていましたから、ADSLへの参入には消極的でしたが世の中のニーズには勝てませんでした。なぜかと言いますとNTTは完璧主義なんです。ADSLはベストエフォート型サービスつまり品質を保証しない商品だからです。電話局から離れると速度がグンと落ちてしまう。だからNTTはいま光ブロードバンド（Bフレッツ）で勝負しており多分ADSLはBフレッツにより淘汰されると思います。ソフトバンクのヤフーBBも例外ではありません。

これから注目しなければいけないことは、①放送のデジタル化に伴い、放送と通信の融合です。ライブドアとフジテレビのドタバタがありましたが、真の議論はなにもなくマネーゲーム、敵対的買収の話題で終わってしまいました。真の放送と通信の融合で注目されることはNTTと放送メディア、電力系通信会社と放送メディアとの提携です。ここで注目されるのがCATVです、インターネットを使った放送事業に関しても、自前の質の高いブロードバンドネットワークを持ち、著作権の処理、つまり配信の許諾を得る作業でCATVは有利です。

②ユビキタス・ネットワーク時代の到来です。ユビキタスという言葉は本来、どこでもいる、どこにでも現われもていう意味です。通信業界では、いつでもどこでも誰とでもが情報を入手・活用できるようにすることを指しています。IP電話の普及で音声通話の収入が落ち込む中でデーター伝送による収入を維持していくために熱い期待を寄せています。メニューとしてはホームオートメーション（エージェントベースの自動制御）、商品管理（ICタグによる物品の履歴管理・追跡）等々です。

情報化社会で考えなければならないことは、情報テクノロジーが時代をリードして行くのではなく、情報テクノロジーを利用してどう社会を発展させて行くかなのです。

そうです情報テクノロジーは道具でしかありません。科学の発展で次から次へと新しい道具が登場します。要はそれを家庭で、企業で、社会全体でどう使うかが大切なことです。

5月3日例会：休会（祝日）

5月10日例会：地区協議会報告会

5月17日例会：卓話 坂内康男会員

5月24日例会：家庭会合報告会

5月31日例会：休会（移転作業の為）



会長／斎藤 正
幹事／小林 満
SAA／阿部 勝子

三条北ロータリークラブ週報

ロータリーを 祝おう 100年の歩み

例会日
2005. 4. 26
累計 No 893
当年 No 37

国際ロータリー会長 グレンE. エステス シニア 第2560地区ガバナー 横山芳郎
ホームページ <http://www.2nextne.jp/district2560/>

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
TEL35-7160 FAX33-8972

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

行事：卓話「思うがままに」今村 泉会員

出席：本日の出席 62名中 37名

先々週の出席率 62名中 52名 83.87%（前年同期83.33%）

先週のメイクアップ：4月23日 新津RC50周年記念式典参加 中條耕二さん、瀧岡 茂さん
岡田 健さん、佐藤弘志さん

25日 三条南RCへ 中條耕二さん

オブザーバー：宮島 徹さん、小林正弘さん（5月入会予定）

ビジター：三条南RCより 蕨澤喜一郎さん

会長挨拶：斎藤 正会長



市内6クラブ（3ロータリークラブ、3ライオンズクラブ）の現・次年度会長幹事懇談会が4月26日に開催されるに先だって、この会がどのような形で誕生したのか、竹之内さんをお願いして調べを進めてもらったのだが、いずれのクラブにも整理された資料はなく、記憶を辿り聞き取りの結果、以下のことが判明しました。

誕生年月日は不明で、我がクラブは梨本年度（1989年6月14日）から参加しているとのこと。当時は合同例会としてホストクラブは全員参加、他

クラブからは10人～20人位の参加を得て大規模な形で行われていたが、3年後の山上年度（1992年）から現在の会長幹事会に姿を変えた訳です。簡単な年表を記します。

～1988年 4クラブ合同例会

1989年～5クラブ合同例会

1992年～5クラブ現・次年度年度会長幹事会

2005年～6クラブ “ ”

5月1日から合併により新三条市となるわけですが瀧岡年度では栄、下田のライオンズクラブ、更に仮称三条東ロータリークラブの創設によって9クラブの会長幹事会として発展してゆくことになる

のでしょう。

ロータリー、ライオンズの目指す奉仕の理念に違いはあっても、こうした会を通して共に切磋琢磨しお互いに発展してゆくを求められているのでしょう。

幹事報告： 小林（満）幹事

・横山G Bより 2005年「ロータリー山の会」ご案内

期日 5月28日（土）～29日（日）

登山 大毛無山（1429m）

参加希望の方は事務局まで申し出下さい（5／6㍻切）

第四分区細井A Gが都合により脱会されたため今年度残りの2ヶ月は三条R C渡辺会長をA G代行と任命致しました

次年度石川幹事より

5／8地区協議会に参加の方はよろしくお願ひします。後日ご案内致しますが8時30分三条市役所出発です。

会員名簿作成のため本日配布致しました内容の確認をお願いします。

家庭会合のご案内を配布致しましたが、出欠表を回しますのご都合の悪い方は希望日をご記入ください。

ニコニコボックス：	26日現在累計 960,000円
-----------	------------------

斎藤正君 5月から正式に入会される富島徹さん、小林正弘さんのお二人を心から大歓迎します。有難うございました。

小林満君 ”

阿部勝子君 ”

小林幹扶君 小林さん宮島さんようこそおいで下さいました。ぜひクラブの一員として活やくされる事を期待しております。

梨木建夫君 腰痛で首痛、膝痛にまで発展しました。ゴルフも迷惑ばかりかけています。反省の日々です。

佐藤啓策君 長い冬がようやく終わりました、梅、桜、椿、こぶし、石献花等の花が一斉に咲き乱れまして、やはり春は良いですね。

外山晴一君 ニコニコBOXを宜しくお願ひします。

大野新吉君 入会予定のお二人様ようこそご出席下さいました。歓迎いたします。又、先週と今週ちょうど結婚記念日それも祥月、祥日（しょうつきしょうにち）の羽賀さん今村さんから卓話をいただき又本日は今村さん何卒宜しくお願ひします。

石川友意君 ◎宮島さん、小林さんの入会を歓迎して!!◎今村さんの卓話楽しみに。

早川瀧雄君 南クラブの韭菜さまメーカーシップありがとうございます。今村さんの卓話楽しみに

しております。

笹原壮玄君 今村会員卓話ご苦労様です。穀雨ですが今はあまり寒くなくて、出席が少なく皆様何処かに翔いてられるようですね。

今村泉君 宮島さん小林さん心から歓迎いたします。

星野義男君 今村さんの卓話に感謝して!!

本間重満君 今村委員長のすばらしい卓話に期待して。

岡田健君 しばらくぶりの例会です。晴一ちゃんに協力。

*横田加代子会員が作成された木目込み人形の売り上げの一部をご寄付頂きました。ありがとうございました。

卓話： 「思うがままに」 今村 泉会員



私達が結婚したのは、昭和45年4月26日でした。昭和45年と言えば、世相語ではウーマン・リブ、モーレッツからビューティフルへ、光化学スモッグ、フリーセックス、男は黙ってサッポロビール、ウーン、マンダム。映画は邦画では戦争と人間 座頭市と用心棒、新網走番外地、洋画ではサウンド・オブ・ミュージック、女王陛下の007。音楽では黒ネコのタンゴ、京都の恋、圭子の夢は夜ひらく、ビートルズ解散。物価は食パン（一斤）50円、大卒初任給37,400円。ファッションはスケスケルック ノーブラ、タートルネック。出来事では大阪万博開幕、よど号ハイジャック事件、三島由紀夫事件、人口1億人突破、このような時代でした。

エピソードを一つ、この時代ですから結婚式も質素でありまして挙式は家、披露宴は料亭でした。移動時間もかかりすつかり予定時間をオーバー、新婚旅行の特急に乗り遅れてしまい、しかたなく普通電車で、それが夕方のラッシュときましたからジロジロ見られ二人で真っ赤になって下を向いたまま目的地に、それも立ったまんまで、そんな事がありましたが無事新婚旅行の目的を達して目出度く夫婦になりました。

その時の私の職業は電電公社でした、転勤商売のようなもので2年から3年で転勤ですので勢い単身赴任、子供を3人設けましたが殆ど母子家庭のようなもので、子供は女房に育てられたといっても過言ではありません。女房にはその他年寄りの面倒も見てもらい本当に感謝している次第です。

なぜ電電公社に入社したかと言いますと、きっかけは「ハハキトク、スグカエレ」の一通の電報でした。昭和35年高校を卒業した私は上越市にあります有沢製作所に入社しました。ガラス繊維織物機械部門に配属され紡績機械改良設計の仕事でやりがいがありました。とる物もとらずに家に帰ると当の母は気持ちよさそうに湯船に浸かっていました、そうですだまされたのです。母の戦略に負けて入社試験を受け電電公社マンになりました。

当時電話は「申し込んでもすぐつかない」、「電話をかけてもすぐつながらない」状態でした。当然のことながら全社を挙げての設備拡充が至上命題となり私は自動交換機の設計部署に配属され、徹夜作業も結構して新しい交換局を次から次へと作り上げていきました。昭和52年には「すぐつく電